

成果指標				
成果指標	当該年度実施経営体/前年度実施経営体			
指標設定の考え方	0			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	0	1	0	0
実績	0	-	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	平成27年度から、中心経営体が、農業用機械を導入する際に、融資を受けた残額について、国の要綱に基づき、補助が実施され、意欲のある経営体の育成や農業生産体制の充実に有効な事業であり、今後制度の啓発を図る。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	補助対象者が融資を受け、農業用機械等を導入する際の融資残について補助金を交付ものである。国の要綱等に基づき実施されることから市の介入余地は少ないが、主体的な農業経営の展開には有効な制度であり、「人・農地プラン」の枠組みを活用した制度周知を、なお図る必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題